



## 創立140周年記念式典&どんぐりフェスティバル開催

11月13日（日）に稲佐小学校創立140周年記念式典並びにどんぐりフェスティバルが開催されました。今回は新型コロナウイルス対策として体育館に入る人数を制限することになり、創立140周年記念式典は、5、6年生とその保護者並びに来賓の代表の皆様が参列して行われました。1～4年生は各教室においてリモートでの参加となりました。

記念式典では、古賀実行委員長様の挨拶、校長式辞、坂田連合自治会長様からの来賓祝辞、稲佐小の歴史紹介、記念品贈呈と続きました。記念品贈呈では、6年生の代表に古賀実行委員長様から学校の航空写真やクリアファイル、記念誌、饅頭など心のこもった記念品が贈られました。子どもたちは、地域の皆様の母校を愛する心に触れながら喜びと感謝の気持ちを持って式に臨むことができました。その真剣な表情の中に、稲佐小学校のよりよき伝統を引き継ごうとする子どもたちの強い決意が表れていました。最後に参加者全員で校歌斉唱を行い、厳粛な雰囲気の中で記念式典は終了しました。140年という節目を刻むとともに次の10年に向けた新たな船出の日となりました。

記念式典の後は、どんぐりフェスティバルが行われました。前半の部では1、3、5年生が、後半の部では2、4、6年生が各教科や総合的な時間で学んできたことをもとに出し物を披露してくれました。3年ぶりの開催ということで、子どもたちは最初戸惑う面もありましたが、この2年間で蓄えてきた力を仲間とともに十分に発揮することができました。学びの秋にふさわしく、学級、そして学校の文化を自分たちの力で創り上げることができた大満足のどんぐりフェスティバルとなりました。



1年生「くじらぐも」



2年「群読 心をひとつに～雨シリーズ」



3年「稲佐の町を紹介しよう」



4年「合奏 優しいあの子」



5年「平和は稲佐から」



6年「地球の未来はぼくらが守る」

## 4年生が輝いた長崎市小音会

11月9日（水）、4年生が3年ぶりとなる長崎市小学校音楽会に出演しました。4年生では9月に入ってから音楽の時間を中心に、昼休みや放課後の時間を使って練習を積み重ねてきました。最初は音がそろわず悪戦苦闘の日々が続きました。そんな中、チームスマイルを学級目標に掲げる4年生たちは、自分たちで学級会を開き、小音会の目標を話し合いました。そこでは目標として「思い出に残る小音会」にすることが決まりました。さらに具体的な行動目標として「真剣、集中、一生けん命、感謝、くり返し、全力」の6つに取り組むことになりました。具体的な目標が決まってからも紆余曲折はありましたが、子どもたちは昼休みや放課後の時間にたくさんの教師のサポートを受けながら熱心に練習に取り組みました。

そして迎えた小音会本番の日、緊張しながらもブリックホールの晴れの舞台に立った子どもたちは、自分たちの持てる力を存分に発揮しながら、心を一つに演奏することができました。私は全校を代表して小音会に参加させてもらいましたが、その迫力のある演奏を聞いて心が震えました。練習を積み重ねる中で大きく成長していった子どもたちに心からの拍手を贈りたいと思います。この取組で学んだことを一人一人の胸に刻み、大きな自信にして、これからさらに飛躍してほしいと願っています。



### 4年生の感想を紹介します

- ・小音会で教えてくださった先生方に感謝を伝えられる自分になりました。
- ・みんなの音が響いてタイミングもあったので、これまでで一番いい演奏ができました。
- ・先生の指揮もしっかり見て、これまで出られなかった5・6年生の分までがんばりました。最高の小音会でした。
- ・小音会をみんなでやると「心が一つになる」ことがわかりました。
- ・毎日、昼休みや放課後に練習をして、本番で上手にできたので練習の大切さがわかりました。
- ・自分たちもだけど、他の学校もみんながんばってきたんだなと思いました。

### 11月の縦割り活動を行いました

11月15日（火）のいなさタイムの時間に11月の縦割り活動を行いました。この活動は、全校児童が1年生～6年生の仲間で構成される縦割り班の10班に分かれて、異学年との交流を深めるものです。今回も6年生が中心となって遊びを考え、効率よく活動をリードしてくれました。子どもたちは縦割り班の仲間たちと運動場や体育館を走り回りながら楽しいひと時を過ごすことができました。

月に1回ではありますが、これからも大切にしていきたい活動の一つです。縦割り活動を通して、相手を大切にする気持ちを育てながら、全校の絆をさらに深めていきたいと思っています。

